

木とともに暮らす

脱炭素社会の実現に向けて、建築物を木造化・木質化する、身の回りの物を木に変える、木を暮らしに取り入れるなど、地球環境にやさしい住まいづくりを行いましょ。



植える

木は高齢化すると二酸化炭素吸収量が減少していくため、新たな植樹が必要です。

育てる

間伐などの手入れを行い、木の成長を促します。



上手に使う

木造建築物の建材や木製品・家具のほか、紙製品などへの利用があります。

伐採する

建築資材等として供給するとともに、森林に新しい木を植えられるようにします。

木質化の効果

心理面の効果

木の持つ柔らかくあたたかな印象で落ち着いた空間となり、癒し・リラックス効果があります。

身体面・衛生面の効果

木材は湿気を吸収・放出する働きによる調湿効果や消臭・抗菌効果があり、滑りにくく衝撃を吸収する材料です。

社会貢献の効果

木造建築は他の構造よりも建設・製造時の二酸化炭素排出量が少なく、二酸化炭素削減効果が期待できます。

健全な森林の育成とともに
住みやすい環境と資源を
持続的に得ることが出来るように、
木を暮らしに取り入れましょ